

- 指針骨子について、全体の構成や要素、特に強調すべき点、留意すべき点等についてご意見を頂きたい。
- 更に、人的投資に関する非財務情報の可視化について、社内の体制整備が十分に進んでいない企業や、投資家に対する効果的な発信やエンゲージメントの経験が十分ではない企業等にとって、きっかけやヒントとして参考指針に取り込むことが有用な要素はあるか。
- 例えば、可視化の方法論や内容に加えて、そのための準備やステップについても一般的な推奨事項を記載することは有用と考えられるか。仮にそのような内容を盛り込む場合、どのような企業や課題を想定して、指針に取り込むべき内容を検討するべきか。

### (可視化に向けた準備やステップの例)

- 人的資本に関する自社の実態把握（定量データの収集や体制整備）
- 人的資本に関する外部環境（競合企業や市場等）に関する分析
- 人的資本に関する自社の大方針（長期ビジョンやビジネスモデルとの関係性等）に関する議論
- 事業部門や人事部門の戦略や方針への落とし込み
- 戦略に沿ったKPIの設定 等

### (想定する企業のイメージ例)

- 統合報告書の作成や、人的資本に重点を置いた価値創造ストーリーの発信に初めて取り組む企業
- 取締役会、経営層レベルでの議論や、社内の役割分担が不十分な企業 等

### (可視化に関する課題例)

- マテリアリティの特定（自社の競争優位性を強化していく上での重要課題の特定）
- 自社のビジネスモデルと人的資本の関係性に関する認識の共有（市場における位置づけの明確化や差別化要素、競争優位の源泉となる要素の特定）
- 情報収集のためのプロセスやシステムの構築
- 部門間の連携
- 取締役、経営層レベルでの議論の不足
- 長期・アクティブな投資家との接点の少なさ 等